

No.10 公民館を核とした生涯学習のあるまちづくり推進事業 （人権・社会教育課）

令和2年度にめざした姿(目的)

公民館等社会教育施設を核とする学びの輪を拡げ、生きがいつくり、仲間づくり、地域づくりにつなげます。

令和2年度にめざした成果

生涯学習作品展及びロビー展の開催、町内施設等を活用した学習成果の発表機会の充実、児童生徒の体験活動の実施を通して、健康で心身ともに豊かな町民を増やし、地域の担い手として多様な能力を発揮する場を通して地域の持続的な発展に貢献します。

令和2年度にめざした活動(主な取組み)

- ・生涯学習作品展、ロビー展を開催します。
- ・公民館以外の場における成果発表を2か所以上で開催します。

令和2年度の成果

- ・公民館主催学級では、参加者同士での意見交換や運営への参画を経て、学級生自身が主体的に学び、学習意欲が高まっています。
- ・子ども向け事業では、学校ではできない体験を通じて自分で考えることや大人から褒められることを経験し、自尊心の育成、次のステップへのチャレンジにつながっています。
- ・公民館以外の施設に教室作品を展示する新たな取組みは、学習成果を社会や他者のために生かすことができ、学習者の生きがい創出の場となっています。

令和2年度の問題

例年多くの参加者がある芸能大会、音楽祭が新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となりました。今後は、人数制限やガイドラインを遵守し、方法を工夫することで実施可能なものもあるため、引き続き学びの機会の充実に努めます。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

町民が行う生涯学習を支援するとともに、社会とのつながりをつくり、学習成果を社会や他者のために生かすことを生きがいにする人を増やしていきます。そのために、社会のニーズ（課題）に合わせた事業の展開、情報発信の強化、他団体との連携強化を図ります。

(2) 解決すべき問題への方策

感染のリスクが高いイベントなどについては、関わる町民の方との意見交換を行いながら、事業目的の達成に向け実施方法などを検討していきます。

(3) 新たに取組む方策

これからの地域を担っていく子どもから青年世代をターゲットとした事業を展開します。また、これまでの集合型のやり方に加えリモート型の講座を取り入れるなどで、新たな参加者や講師とのつながりを創出し、町民の生涯学習のさらなる推進を目指します。